



阿波市

避難所運営マニュアル

「新型コロナウイルス感染症対策編」

令和5年3月
阿波市

目 次

はじめに	P 1
第 1 章 避難所開設前	P 1
1 市民への広報	P 1
2 資機材の備蓄	P 2
3 避難所の拡充	P 2
4 避難所レイアウト	P 3
5 避難所運営訓練	P 3
第 2 章 避難所開設時	P 4
1 避難所の開設	P 4
2 居住スペース、専用スペースの設置	P 4
3 入所受付	P 4
4 発熱や体調不良のある方への対応	P 6
5 避難所生活	P 7
別 紙	P 8
別紙 1 避難者情報カード	P 8
別紙 2 健康状態チェックカード	P 9
別紙 3 サブ避難所候補施設(公共施設)	P 10
別紙 4 指定避難所(中学校体育館)のレイアウト	P 11
別紙 5 指定避難所(中学校体育館)の必要物資一覧表	P 14
別紙 6 指定避難所(小学校体育館)のレイアウト	P 15
別紙 7 その他の指定避難所のレイアウトの一例	P 18
別紙 8 ラウンドチェックリスト	P 19
別紙 9 日々健康状態チェック表	P 23
別紙 10 スクリーニング票	P 24
別紙 11 スクリーニングポイント	P 25
別紙 12 災害時アセスメントシート	P 26

はじめに

本編は、新型コロナウイルス感染症等の感染症防止に関わる対策事項について特化して記述したもので、「阿波市避難所運営マニュアル」に加えて行動の準拠とする。

第1章 避難所開設前

1 市民への広報

(1) 指定避難所以外の避難方法、避難する場合の準備品等の留意点について、市民へ周知啓発する。

(2) 指定避難所での感染リスク、その他の避難方法や避難所に避難する場合の留意点、3密の回避などについて市民に以下の内容を広報紙、ケーブルテレビ等により周知啓発する。

ア 在宅避難等

(ア) 災害発生時において、水害による浸水や地震による家屋倒壊の危険性がない場合は、まず危険性を確認し、感染症リスクの低い自宅で居住が継続できる場合は自宅避難も検討する。

(イ) 指定避難所が過密状態になることによる「感染リスク」が高まることを防ぐため、指定避難所以外への避難を検討（親戚や友人の家、自宅における垂直避難等）し、分散避難による「3密」にならない避難所を目指す。

また、在宅避難や車中泊等での「熱中症」や「血栓症」等のリスクについても周知する。

イ 避難所に持参する物資等

(ア) マスク、石けん、アルコール消毒液、ウェットティッシュ、体温計、タオル、歯ブラシ等の衛生用品、スリッパ、ビニール手袋、着替え、常備薬、お薬手帳、ゴミ袋などを用意し持参する。

(イ) 服薬している薬やお薬手帖、サプリメント等を用意し持参する。

ウ 事前の「避難者情報カード」等の準備

(ア) 受付時の混雑を避けるため、受付時に記入する「別紙1 避難者情報カード」を事前に記入する。

(イ) 避難所に行く際はマスクを着用し、「別紙2 健康状態チェックカード」を記入し持参する。

2 資機材の備蓄

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止には、以下の資機材の備蓄が重要となることから、備蓄品を再点検し、備蓄品の拡充強化を図ることにより、避難所の環境改善を図る。

また、主要な備蓄品を下記のとおりとし、細部については、「別紙5 指定避難所（中学校体育館）の必要物資一覧表」を基準に備蓄に努める。

(1) 衛生用品

- ア 受付時等に避難者の体温を測る非接触型の体温計
- イ アルコール消毒液、台所用合成洗剤、ハンドソープ石けん、ペットボトル飲料水
- ウ 除菌シート、ペーパータオル、ウェットティッシュ
- エ ゴミ袋、蓋付きゴミ箱（足踏み式）
- オ マスク、フェイスシールド、使い捨て手袋、防護服（プラスチックガウン、カッパ等含）

(2) 居住スペース、専用スペース

- ア パーティション、避難所シェルター、避難用テント、仮設トイレ用テント、ブルーシート、（必要により、段ボールベッド）
- イ エアコン（スポットクーラー）、ストーブ
- ウ 毛布（夏期はタオルケット）、マットレス
- エ 使い捨て食器、紙コップ、割り箸、ラップ、キッチンペーパー
- オ 養生テープ（区画整理用）
- カ 簡易トイレ
- キ 床置き型手すり（必要により）

(3) 受付用

- 筆記用具、マーカー、模造紙、コピー用紙、付箋、クリアファイル、バインダー、ホワイトボード、水性ペン、セロハンテープ、看板用ラミネート、メジャー、タブレット端末など

3 避難所の拡充

(1) 全 般

- ア 避難所における「3密」を防ぐためには、避難所の拡充が重要であることから、避難所の施設数の増加と避難所内の利用床面積（居住スペース等）の拡大を図る。

- イ 学校を「指定避難所」にしている場合は、体育館のほか「空き教室」等を活用する。

(2) サブ避難所の確保

「指定避難所以外」の施設として、避難所指定をしていない公共施設「別紙3 サブ避難所候補施設」を優先利用する。

不足する場合は、民間賃貸住宅の空室、空き家、高校、宿泊施設（旅館・ホテル）等を借り上げる。

この際、耐震性や浸水区域など災害リスクの状況を確認し、避難所として使用できる場合は、相手側に協力を依頼、調整し、「サブ避難所」として確保する。

(3) 開設の事前準備

- ア 避難所の「避難利用床面積」から、「3密防止」のための避難定員を設定し、市及び施設管理者と施設運営や定員管理について事前協議する。
※収容人数100人の避難所に、数百人がくる可能性があることから、開設時の運用（避難者の分散等）方法と収容定員について検討する。
- イ 車中泊やテント泊に備えた校庭、グラウンド等を確保する。
※車中泊は、エコノミー症候群への対策に配慮する。

4 避難所レイアウト

(1) 小・中学校が指定避難所の場合

- ア 体育館及びグラウンドの一部に「居住スペース」を設置するとともにパーティション又は避難所用シェルターにより、飛沫感染防止を図る。
また、専用スペースを空き教室に設置する。
- イ 「別紙4 指定避難所（中学校体育館）のレイアウト」
- ウ 「別紙5 指定避難所（中学校体育館）の必要物資一覧表」
- エ 「別紙6 指定避難所（小学校体育館）のレイアウト」

(2) その他の指定避難所

- ア 「3密」にならないことが重要であることから、占有場所の2m間隔（人との間隔はできるだけ2m（最低1m））空ける。
「3密」を回避するため、1人当たりの居住スペースは4㎡以上（最低3㎡）、通路幅は2m以上を確保するよう床面積に応じてレイアウトを作成する。
- イ 「別紙7 その他の指定避難所のレイアウトの一例」

(3) 入所受付

- ア 教室を活用する際は、机や椅子の移動、児童生徒の私物の扱い等に配慮する。
- イ 発熱や体調不良のある方を早期発見できるよう、避難所入口の外に「入所受付」を設置する。
- ウ 受付の際には、避難所の列は間隔（人との間隔はできるだけ2m（最低1m））を空け、運営スタッフによる行列の整理、立ち位置の目印を付するなどにより、入場整理を行い、混雑を防ぐ。
- エ 「専用スペース」には、家族用の待機スペースも確保し、その場合は発熱等の方と別部屋にする。
- オ 「専用スペース」と「居住スペース」と分離できない場合は、「専用スペース」と「居住スペース」の動線を分け、分離したレイアウトとしすべての動線は交差を避け、一方通行とする。

(5) ラウンドチェックの実施

- 開設時のレイアウト、アルコール消毒の配置場所等については、設置後に「別紙8 ラウンドチェックリスト」により、漏れがないか確認する。

5 避難所運営訓練

- 本マニュアル（新型コロナウイルス感染症対策編）を参考とし、市、地域住民及び施設管理者等は、マニュアルに沿って訓練を実施する。

第2章 避難所開設時

1 避難所の開設

- (1) 事前に決めた避難所開設者(市、施設管理者等)は、市対策本部の指示により、速やかに避難所を開設する。
- (2) 開設する優先順位は、大規模風水害においては、①小中学校体育館及びグラウンド、②その他の指定避難所、③サブ避難所の順とする。
小規模においては、被害地域の状況に応じて柔軟に開設する。
地震災害において、震度6弱以上の地震発生時は、全指定避難所を同時に開設する。

2 居住スペース、専用スペースの設置

- (1) 事前に検討したレイアウトに基づき、ポール(2m程度の棒)や養生テープ等を使用し、「居住スペース」や「専用スペース」を設置する。
- (2) 必要に応じ「段ボールベッド」を活用する。
※感染を予防する上で床から離れることが特に重要
- (3) 避難者が居住スペースに入る前には、2m間隔(人との間隔はできるだけ2m(最低1m)空ける。
3密を回避するため、1人当たりの居住スペースは4㎡以上(最低3㎡)を養生テープ等で標示する。
- (4) トイレには、できる限り「ペーパータオル」を設置し、「共用タオル」の使用は禁止する。
- (5) 個室でない便器(男性用小便器)の利用にあたっては、ひとつおきに使用するよう、利用者に対して周知する。
- (6) 「専用スペース」には、パーティションや避難所用テントを設置する。
- (7) 発熱や体調不良のある方を完全分離する。
- (8) トイレや洗面所等も含めて「居住スペース」と「専用スペース」を分離する。
- (9) 「居住スペース」と「専用スペース」の動線が交わらないことを確認する。また、動線は一方通行とする。

3 入所受付

- (1) 避難者の健康状態を確認するため、避難所入口の外に「入所受付」を設置する。
- (2) 避難所開設と同時に「入所受付」を設置し運営する。
- (3) アルコール消毒液を複数設置し、雨天時は必要に応じてテントを設営する。
- (4) 体育館に接続する廊下を使用する等、各避難所に応じて設置する。
- (5) 避難者のマスク着用、手洗いを徹底する。
 - ※マスクを着用していない方については、マスクの配布に努める一方で、マスクは熱中症リスクを高める一因ともなることから、暑さに体が慣れる「暑熱順化」ができずに「脱水症状」を起こすリスクがある。こまめな「水分補給」と「塩分補給」を高齢者、障がい者、子ども等の避難者へ指示する。
 - ※気温、湿度の高い中でのマスクの着用は注意を要することから、熱中症予防として、周囲の人との十分な距離（2m以上）をとった上で、適宜マスクを外して休憩することを周知する。
- (6) 発熱の有無や問診により体調不良を確認する。
 - ※検温と問診で「一般避難者」と「感染者」、「濃厚接触者」、「感染の疑いがある方」などをスクリーニングする受付の役割が特に重要である。
- (7) 受付時は、非接触型の体温計を使用する。
 - 止むをえず、接触型の体温計を使用する場合、感染防止のため毎回、アルコール消毒を実施する。
- (8) 検温、問診をするスタッフは、マスクに加え、フェイスガード、手袋、必要に応じてプラスチックガウン等を装着する。
- (9) 「避難者情報カード」の記載にかえて、タブレット端末等を利用した避難者情報の入力についても検討する。
- (10) 入所受付の結果により、「専用スペース」又は「居住スペース」へ誘導する。
 - ア 発熱や体調不良者は、「専用スペース」へ誘導する
 - イ 発熱や体調不良者以外は、「居住スペース」へ誘導する。

(11) 要配慮者への対応

ア 「避難者情報カード」において「介護が必要又は重度の障がいがある。」と答えた避難者については、福祉避難所への避難を予期しつつ、出入口に近い居住スペースへ誘導するとともに「別紙10 スクリーニング票」を記入させるとともに速やかに現地対策本部長を通じて市災害対策本部（災対健康福祉部長）に報告する。

イ 各避難所のスタッフが「別紙10 スクリーニング票」及び「別紙11 スクリーニングポイント」を基に、福祉避難所への避難の可否を判断する。

また、福祉避難所への避難可となった要配慮者を現地地区リーダー保健師に報告するとともに、福祉避難所に決定した要配慮者に「別紙12 災害時アセスメントシート」の必要事項の太線枠内を記入させ、福祉避難所への避難を準備させる。

(12) 避難者自らが移動できるよう、案内看板や養生テープ等を用意する。

(13) 発熱や体調不良者は、診察が必要であるため市災害対策本部と連携し、事前に検討した医療機関等へ搬送する。

(14) 医療機関等へ搬送するまでの間、「専用スペース」で待機させる。

(15) 入所受付の設営前に避難者が「居住スペース」に入った場合は、改めて2m間隔（人との間隔はできるだけ2m（最低1m））空ける。

3密を回避するため、1人当たりの「居住スペース」は4㎡以上（最低3㎡）、通路幅は2m以上の区割りを行うとともに、各避難者の体温と体調を確認する。

(16) 体育館に接続する廊下を使用する等、改めて入所受付を実施する。

4 発熱や体調不良のある方への対応

- (1) 自宅療養者(感染者)や自宅待機者(濃厚接触者等)は、保健所に連絡し指示を仰ぐ。
一時的に受け入れる場合は、動線(出入口含)を分け、「専用スペース」に速やかに隔離誘導する。
- (2) 感染者に対する差別や誹謗中傷を避け、一人ひとりの尊厳が守られるよう、医療機関への移送や、個室が確保できる「専用スペース」へスムーズに誘導できるようにする。
- (3) 避難所に発熱や咳などの症状のある方がいる場合は、ゾーニング(居住区分)を徹底する。
- (4) 学校等の大規模な避難所は空教室等を活用し、「専用スペース」を設置する。
- (5) 小規模な避難所の「専用スペース」は、個室とすることが望ましいが、個室がない場合は、医療機関を受診するまで一時的にテントや車中等に待機させる。
- (6) 発熱や体調不良のある方は、「専用スペース」へ隔離誘導する手順を事前確認する。
体調により、医療機関の受診、移送等のための手順を医療関係者の協力体制を含め、併せて事前確認する。
- (7) 医療機関の受診までの間、「専用スペース」で待機させる。
- (8) 感染者が確認された場合に備え、保健所と連携の上、消毒方法やその範囲、その他避難者の移動先等を事前に検討する。

5 避難所生活

- (1) 避難所内での3密の厳禁、マスク着用、手洗いを徹底する。
また、避難者は「別紙9 日々健康チェック表」により、健康状態の把握に努めるとともに、感染者発生時の拡大防止を図る。
- (2) 居住スペース外に出る場合は、必ずマスクを着用する。
- (3) 通路内で他の避難者とすれ違う場合は、可能な限り距離を置く
- (4) トイレ、蛇口、ドアノブ等の触れるところに消毒液及びペーパータオルを設置し、接触の都度、消毒を行う。
- (5) 窓は、開放する。これが困難な場合は、1時間に10分程度換気を行う。

避難者情報カード

カードNo

入所日		避難所名	
-----	--	------	--

避難の状況	避難所・車中・在宅避難者・帰宅避難者・()
-------	------------------------

続柄	氏名	ふりがな	性別	年齢	安否確認	治療中の病気(番号を記入) 1 感染症 2 服薬者(高血圧・心臓病・糖尿病・腎臓病) 3 人工呼吸器 4 人工透析 5 在宅酸素 6 気管支喘息 7 精神疾患 8 食事制限等 9 難病 10 その他	介護・障がいの有無
世帯代表者			男・女		済・未		
			男・女		済・未		
			男・女		済・未		
			男・女		済・未		
			男・女		済・未		
			男・女		済・未		
			男・女		済・未		

住所			
電話		携帯電話	
自宅の種類	持家・マンション・アパート・賃貸 ()	自宅の状況	不明 全壊・半壊・一部損壊 停電・断水・ガス停止・電話不通
車	車種: ナンバー	ペット	無・有(種類)
「安否情報の公開依頼」について、住所・氏名を教えてくださいか。			可・否
「安否確認の問合せ」について、避難所にいることを教えてくださいか。			可・否

退去日	
転出先	住所: 電話番号Or携帯番号

以下は、担当者記入欄です。

備考	
----	--

健康状態チェックカード

このカードは毎日、避難所運営本部に提出してください。

記入日	月	日	曜日
記入時間（午前・午後）		時	分

ふりがな	
氏名	

発熱はありますか	ある・ない	体温（ ）度
息苦しさはありますか	ある・ない	
味や匂いを感じられない	ある・ない	
咳やたんはありますか	ある・ない	
全身倦怠感（だるさ）はありますか	ある・ない	
嘔吐や吐き気はありますか	ある・ない	
下痢が続いていますか	ある・ない	

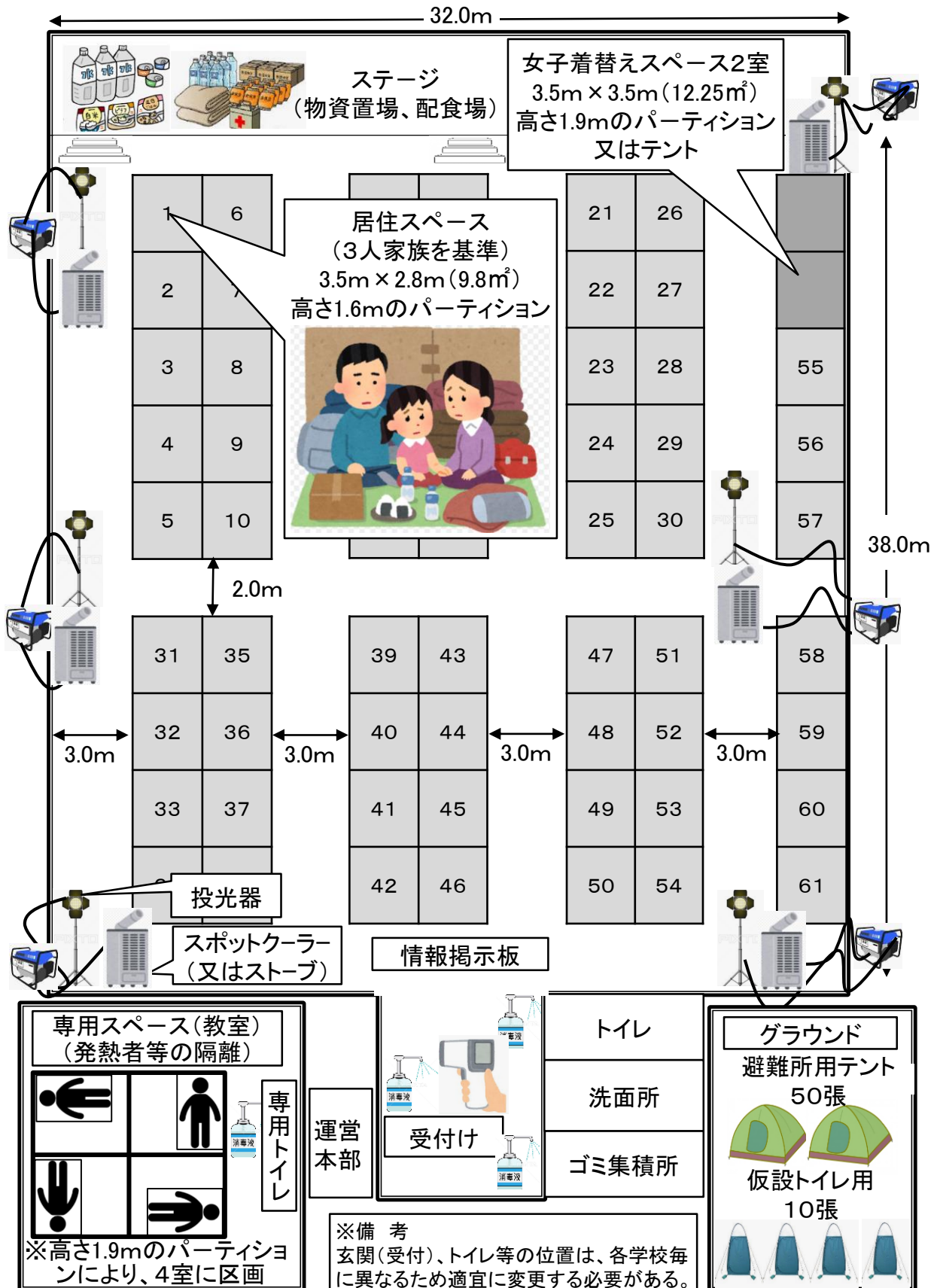
肺炎球菌のワクチンを接種していますか	ある ・ ない ・ わからない
--------------------	-----------------

サブ避難所候補施設（公共施設）

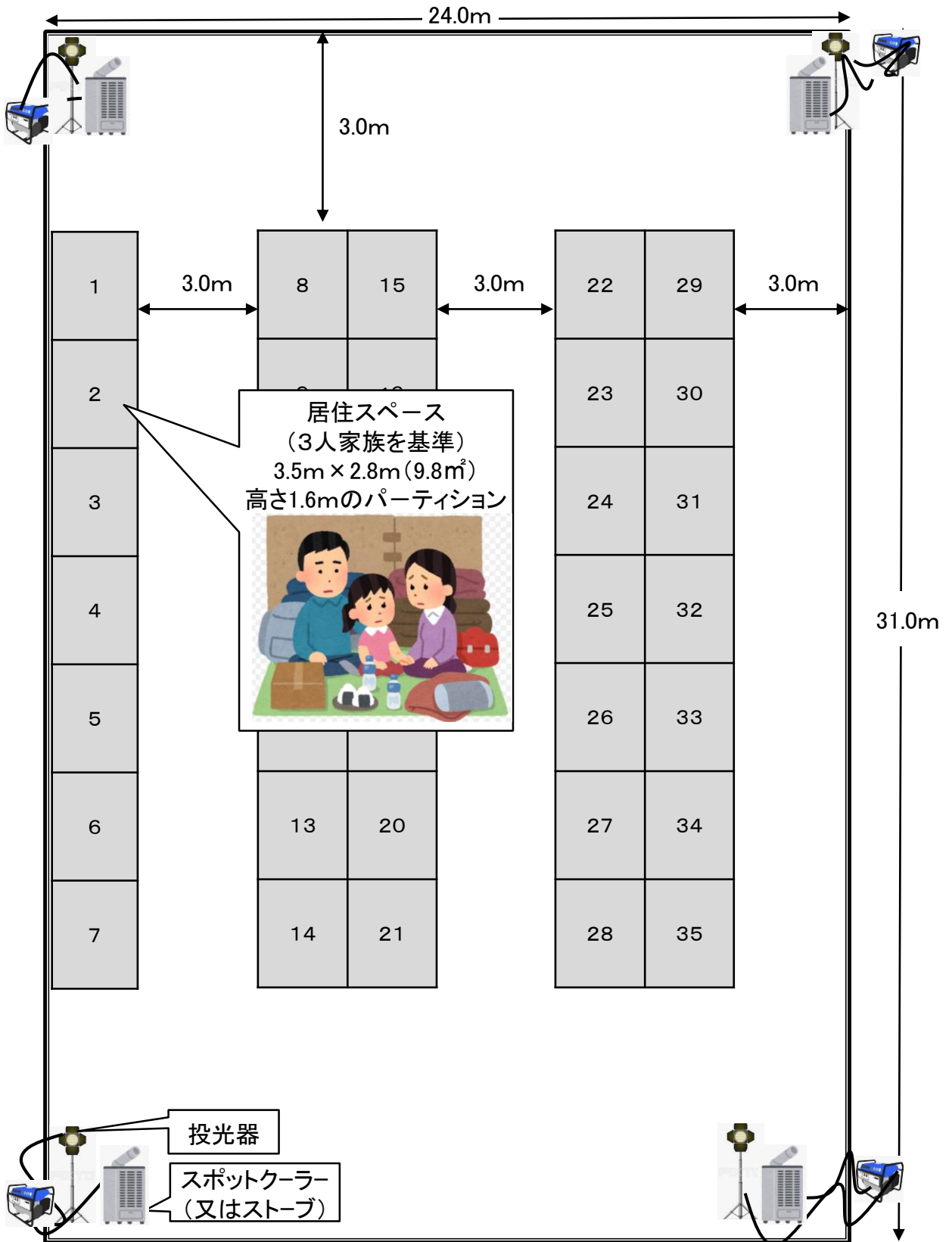
区分	施設名	収容可能人数	住所	所管課
体育施設	市場体育館	120人	市場町市場字岸ノ下206-1	社会教育課
多目的 研究会 修集会 施設及 び集 会所	柿原ふれあい会館	20人	吉野町柿原1丁目118	人権課
	市場公園老人憩の家	26人	市場町市場字上野段212番地2	社会福祉課
	市場岸ノ下老人憩の家	18人	市場町市場字岸ノ下255番地先	社会福祉課
	阿波勝命サブセンター	40人	阿波町勝命北34-7	農業振興課

※収容人数は、延床面積×2/3（通路等）÷4㎡（一人当たりの面積）で計算

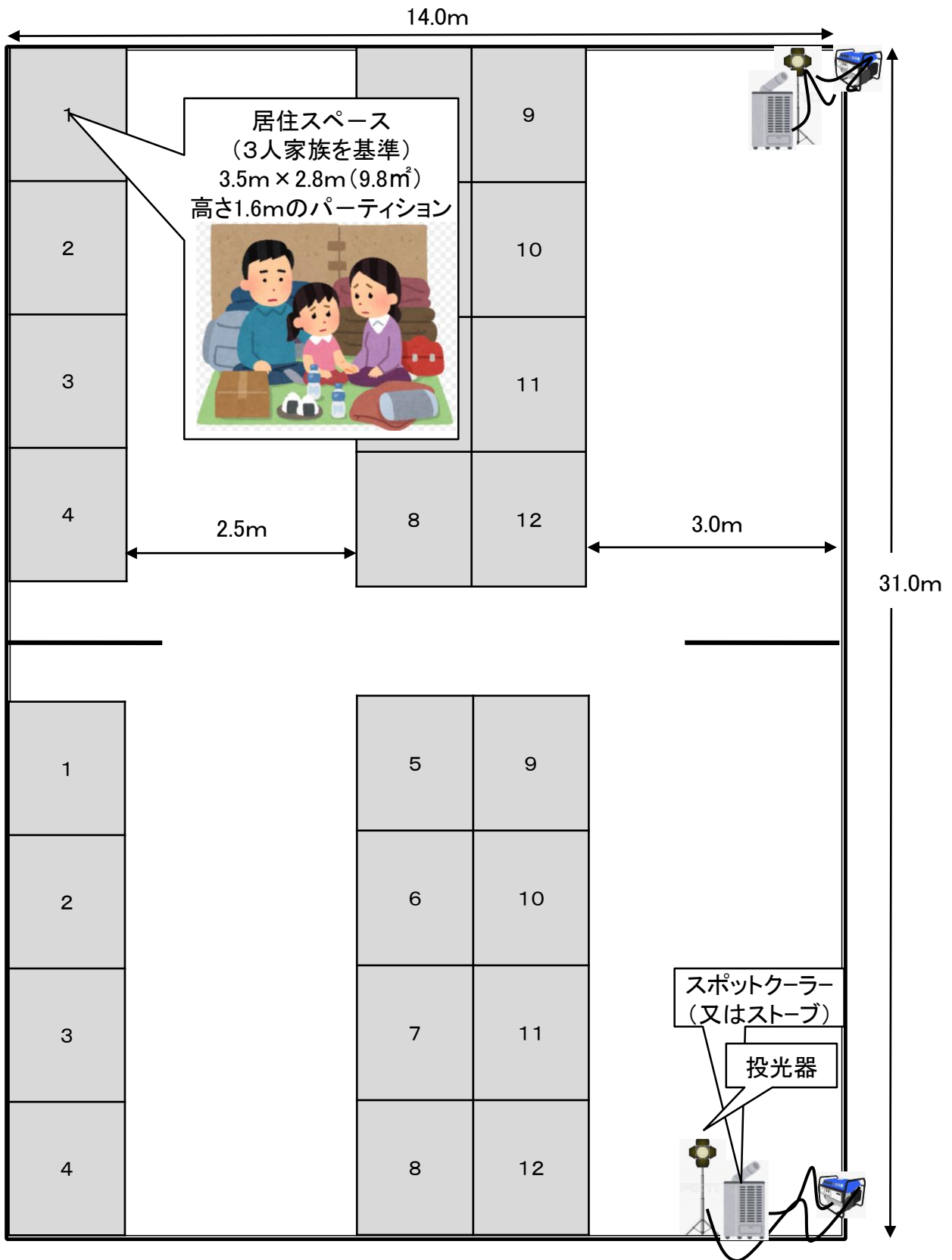
指定避難所(中学校体育館)のレイアウト



指定避難所(阿波中学校体育館多目的ホール)のレイアウト



指定避難所(吉野中学校体育館武道場)のレイアウト



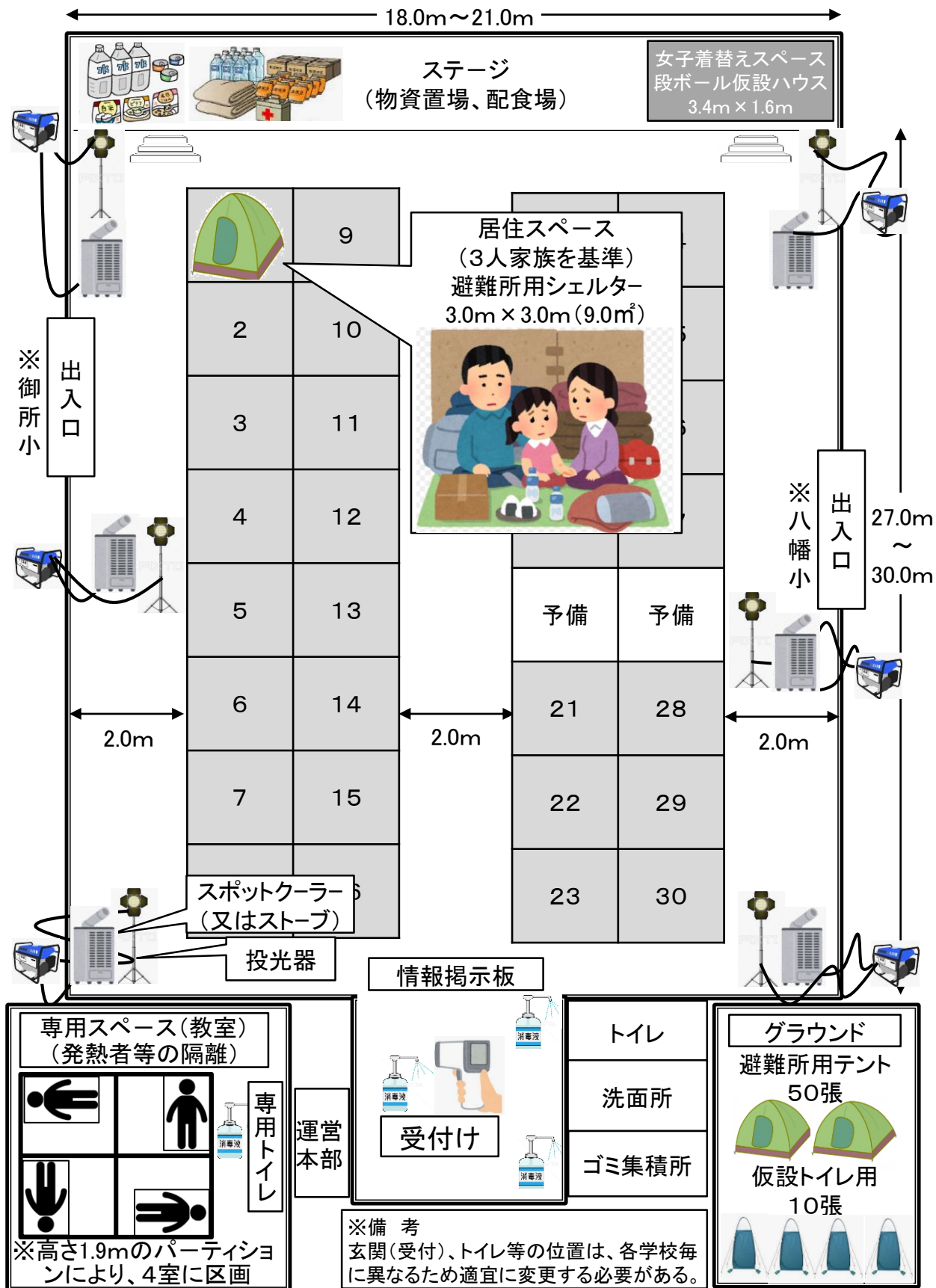
指定避難所（中学校体育館）の必要物資一覧表

区分	品名	数量	算定の基礎	
施設資材	パーティション1.6m	771枚	38m×32m(床面積)	
	パーティション1.9m(着替え用)	32枚	2箇所	
	パーティション1.9m(専用スペース用)	24枚	2箇所	
	避難所用テント	50張		
	仮設トイレ用テント	10張		
	ブルーシート7m×7m	42枚	38m×32m、31m×20m(床面積)	
	発電機	14機	38m×32m、31m×20m(床面積)	
	ストーブ	30台	10人に1台	
	スポットエアコン	10台	38m×32m(床面積)	
	投光器	12機	38m×32m(床面積)	
	ポリタンク(ガソリン、灯油用20ℓ)	30個	発電機、ストーブ数	
	養生テープ	30巻	シート固定、標示用	
	カッターナイフ	10個		
	延長コード	15巻	スポットエアコン、投光器用	
	ショベル	20本	テント周辺側溝掘り用	
	6ポンドハンマ	5本	テント杭打ち用	
生活物資	毛布	700枚	避難者×2枚	
	マット	350枚	避難者数	
	アルファ化米	700食	1日分(1日2食)	
	水(500ml)	2,100本	1日分(1日6本)	
	ポリタンク(給水用20ℓ)	20個	自炊用(7日以降)	
	かまどセット	2機	自炊用(7日以降)	
	調理セット	1セット	自炊用(7日以降)	
	台所用合成洗剤	10個	自炊用(7日以降)	
	カセットコンロ	10個	20人に1個	
	カセットコンロ用ガスボンベ	20本	カセットコンロに2本	
	紙食器(プレート)	6,000枚	5日分 自炊用	
	割りばし	6,000本	5日分 自炊用	
	紙コップ	6,000個	5日分 自炊用	
	照明付ラジオ	120個	1区画1個	
	衛生資材	アルコール消毒液(18ℓ)	4缶	
		アルコール消毒液用ボトル	10個	
ハンドソープ		10個		
マスク		1,050枚	避難者1人3枚	
石けん		50個		
非接触型体温計		2個	受け及び体調不良時	
ゴミ袋		1,000枚		
ゴミ箱(蓋付き)		20個		
ペーパータオル		100巻		
車椅子用トイレ		3台		
簡易トイレ		30台		
携帯トイレ(トイレ袋)		3,000枚	5回/1人/1日(3日分)	
ウェットティッシュ(100枚入)		100個		
トイレットペーパー		500巻		
受付資材		筆記用具	一式	
		コピー用紙(1箱)	2,500枚	
	付箋	1箱		
	クリアファイル	200枚		
	バインダー	10枚		
	ホワイトボード	4枚		
	ホワイトボードマーカー(赤・黒)	各10本		
	避難者情報カード	300枚		
避難所運営マニュアルのシート類	一式			

※中学校体育館は、避難者数350人で算定しており、その他の指定避難所は、避難者数を基に算定するものとする。

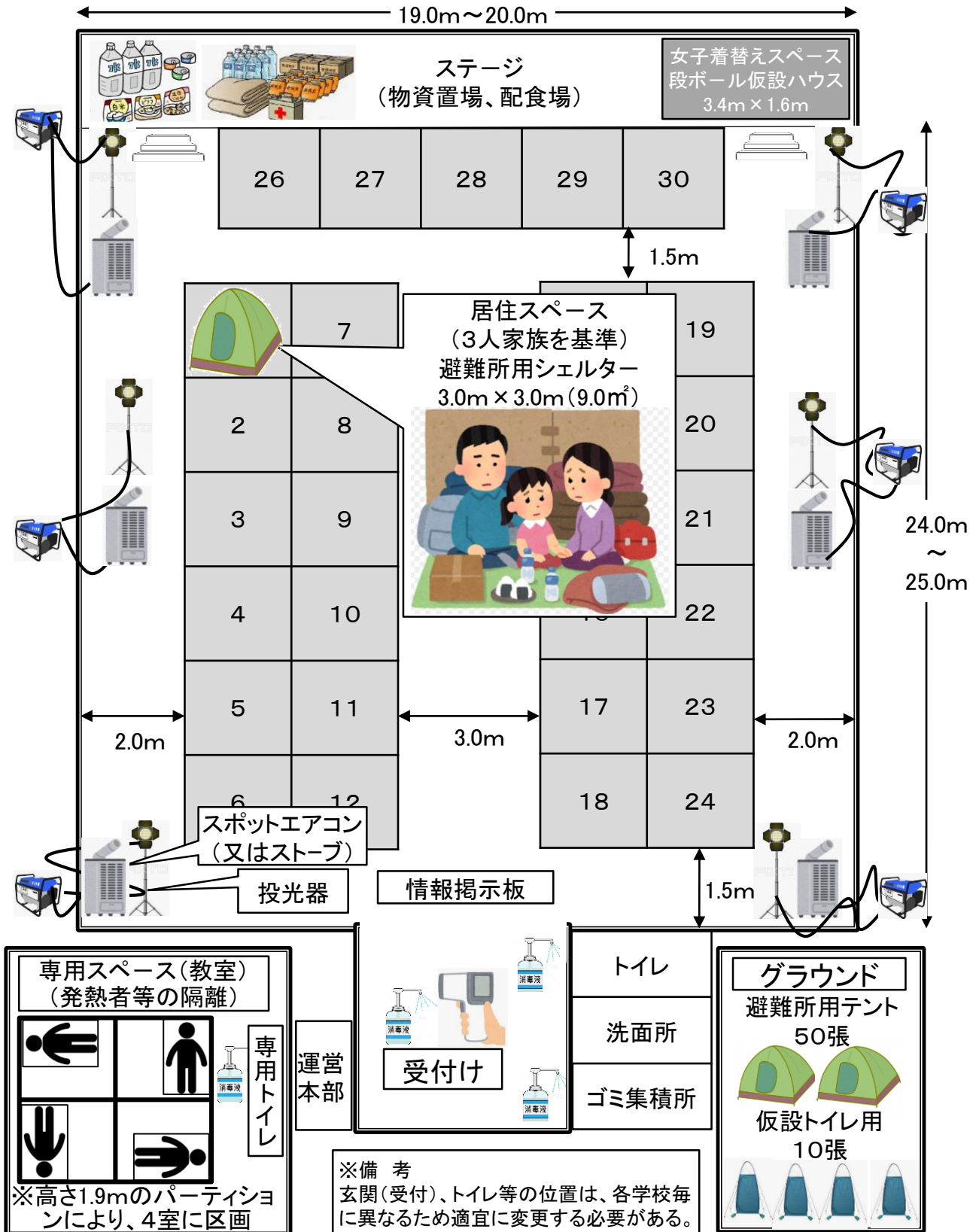
指定避難所(小学校体育館)のレイアウト

(柿原小、土成小、御所小、八幡小、伊沢小、久勝小、林所小)



指定避難所(小学校体育館)のレイアウト

(一条小、大俣小)



専用スペース(教室)
(発熱者等の隔離)

専用トイレ

※高さ1.9mのパーティションにより、4室に区画

運営本部

受付

トイレ

洗面所

ゴミ集積所

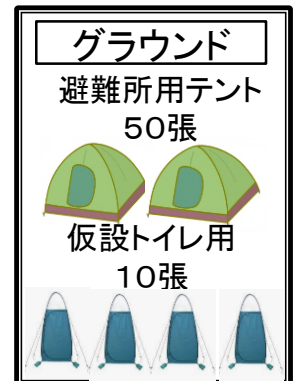
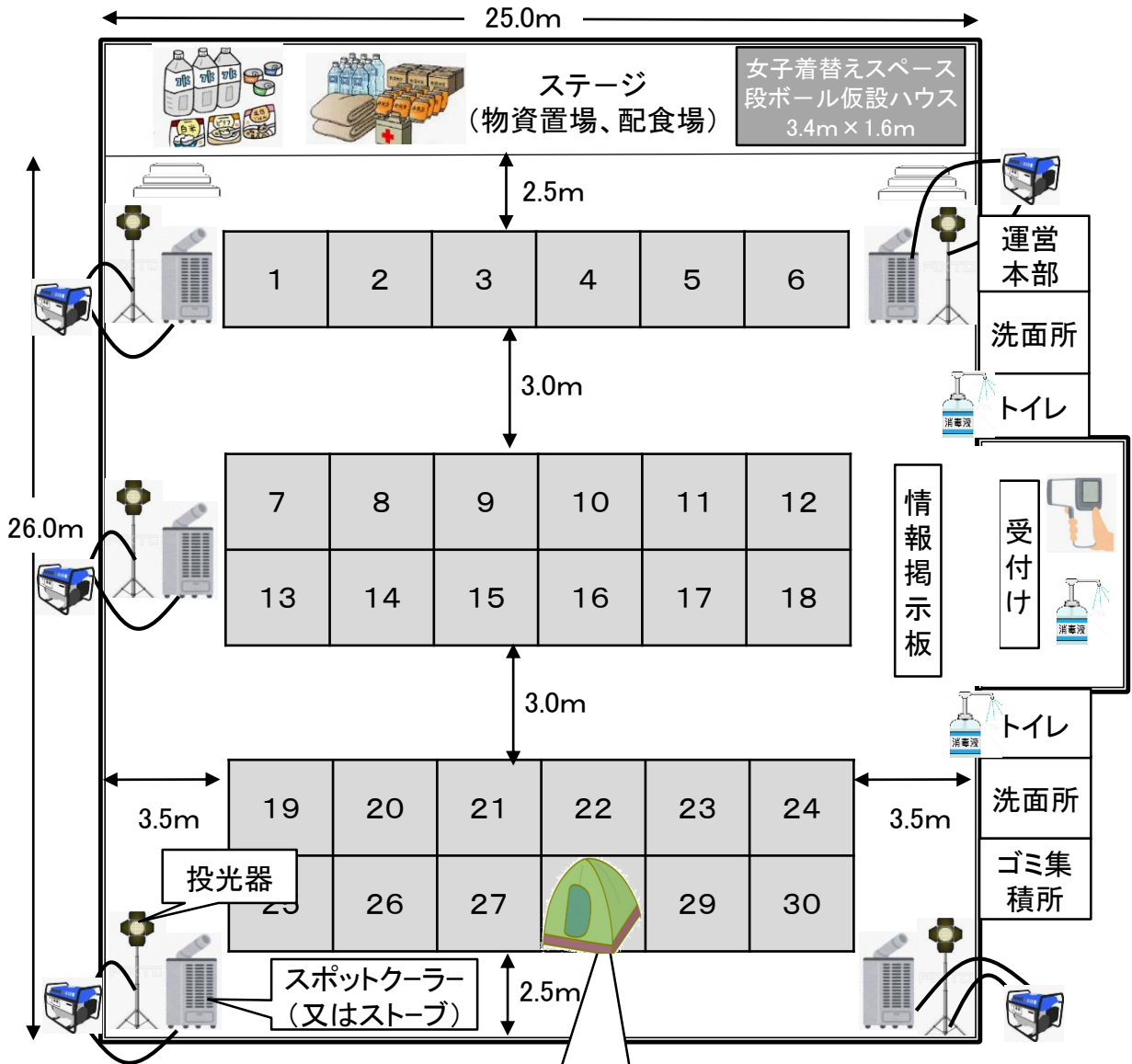
グラウンド

避難所用テント
50張

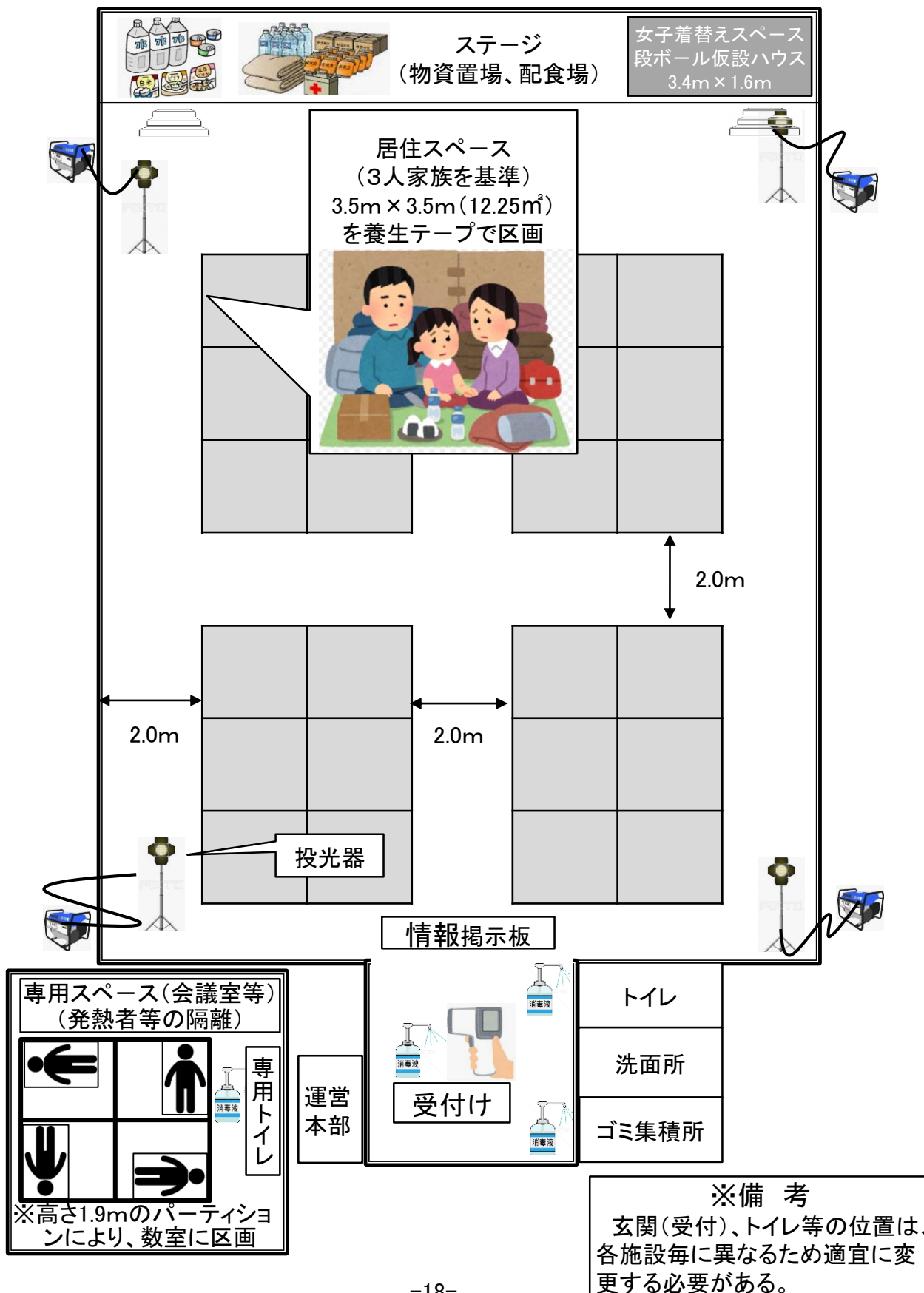
仮設トイレ用
10張

※備考
玄関(受付)、トイレ等の位置は、各学校毎に異なるため適宜に変更する必要がある。

指定避難所(小学校体育館)のレイアウト (市場小)



その他の指定避難所のレイアウトの一例



ラウンドチェックリスト

別紙8

1 開設時のレイアウト

No	内 容	チェック
1	感染者と感染者以外の出入口を分けているか。	
2	学校を避難所とする場合、トイレと手洗場を部屋（教室）ごとに指定しているか。 ※感染者、感染者以外が使用する部屋、トイレ、手洗場は、動線が交わらないように指定しているか。	
3	認知症や障がいがある方などの部屋は、スタッフ詰所の近くに配置しているか。	
4	それぞれのゾーン間（廊下）で人が接触しない動線を確保しているか。	
5	居住スペースでは、人と人との間隔は1m以上（できれば2m）あけ、間には高さ1.6m以上のパーティションを設置しているか。 ※避難所が学校の場合、教室や会議室等の小部屋を優先使用 ※パーティションの組み替えの訓練や要する時間の確認	
6	居住スペース内の通路は2mの幅で設置しているか。 ※着色テープにより各区画を囲み、一定の距離を確保・維持	
7	居住スペースが教室の場合、3密を避けるため、6名程度の定員としているか。	
8	学校の空き教室を活用する場合は、できれば各階ごとに運営スタッフ詰所を設置とているか。	
9	トイレに行けない人の居住スペースには簡易トイレを設置しているか。	
10	居住スペース内に必要に応じて、床置き型手すりを設置しているか。	
11	居住スペース内にゴミ箱（足ふみ式）、物資置場、掲示板を設置しているか。	
12	体育館を使用する場合は、大きくブロックを分けて、寝床の間隔はできるだけ2m以上離すか、間をパーティションで仕切っているか。 ※着色テープにより各区画を囲み、一定の距離を確保・維持	
13	体育館を使用する場合は、着替えや授乳用の専用スペースを設置しているか。	
14	体育館を使用する場合は、子ども連れなどの家族単位の居住スペースを設置しているか。	
15	体育館を使用する場合は、高齢者や足の不自由な方用の居住スペース（福祉避難スペース）をトイレに近い場所に設置しているか。 ※要配慮者については、福祉避難所に移動できるよう支援を検討 ※体調の変化に注意する。	

2 受付案内時

No	内 容	チェック
1	入り口付近の人の流れに滞留はないか。 ※人との間隔2m（最低1m）確保 ※目印、案内の整備 ※体温、体調チェックの際に密にならない。	
2	検温の方法は適切か。 ※体温計（非接触）の利用方法	
3	避難者情報カードは適切に記入しているか。 ※事前に記入してもらうのが望ましい。 ※過不足のない適切な記入内容 ※記載要領の説明・掲示 ※避難者情報カードにかえ、タブレット端末を利用した避難者情報の入力	
4	外履き等への対応は適切か。 ※土足厳禁、上履き準備等 ※靴袋の準備	

3 アルコール消毒の配置場所

No	内 容	チェック
1	受付に配置しているか。 ※開封日を記載し、使用期限を設け、使用状況を把握する。 ※継ぎ足しではなく、使い捨てが望ましい。	
2	各専用スペース、居住スペースの出入口に配置しているか。 ※開封日を記載し、使用期限を設け、使用状況を把握する。 ※継ぎ足しではなく、使い捨てが望ましい。	
3	トイレの出入口に配置しているか。 ※開封日を記載し、使用期限を設け、使用状況を把握する。 ※継ぎ足しではなく、使い捨てが望ましい。 ※手洗いの方法を掲示し、徹底する。	
4	食堂の出入口に配置しているか。 ※開封日を記載し、使用期限を設け、使用状況を把握する。 ※継ぎ足しではなく、使い捨てが望ましい。	
5	ゴミ箱付近に配置しているか。 ※開封日を記載し、使用期限を設け、使用状況を把握する。 ※継ぎ足しではなく、使い捨てが望ましい。	
6	階段の登り口付近に配置しているか。 ※開封日を記載し、使用期限を設け、使用状況を把握する。 ※継ぎ足しではなく、使い捨てが望ましい。	

4 アルコール消毒時

No	内 容	チェック
1	マスクの着脱の前後に消毒しているか。	
2	食事準備の前に消毒しているか。	
3	飲食の前に消毒しているか。	
4	トイレの前後に消毒しているか。	
5	掃除の前後に消毒しているか。	
6	ドアノブ、机、テーブル、椅子などの共用部分を触れる前後に消毒しているか。	
7	吐物、汚物などを片付けた後に消毒しているか。 ※吐物等の処理時には、使い捨て手袋を着用	
8	汚れたティッシュやゴミを処理した後に消毒しているか。	
9	使い捨て手袋を脱いだ後に消毒しているか。	
10	アルコール消毒は手を乾かしてから使用しているか。	

5 食事配膳・就寝時

No	内 容	チェック
1	作業台は準備前と作業後にアルコール消毒液で消毒しているか。	
2	配膳作業は、手洗い、アルコール消毒後に、マスクと使い捨て手袋を着用しているか。	
3	ひとり分ずつにお皿で小分けしているか。 ※大皿にもらない	
4	避難者自らによる自炊は禁止しているか。	
5	使い捨て食器を使用しているか。 ※食べ物にラップを使用	
6	消毒済みの配膳箱に食べ物を入れて、居住スペース等の決められた場所に配膳しているか。	
7	配膳する際、配膳箱に新しいゴミ袋を分別の種類ごとに用意しているか。	
8	食事や就寝時間等、避難所運営のルールは周知されているか。	

6 換気の実施

No	内 容	チェック
1	作業前に手洗い、アルコール消毒を実施しているか。	
2	マスク、使い捨て手袋を着用して実施しているか。	
3	居住スペース、専用スペースの出入口や窓を開けて、換気しているか。	
4	窓を開けて、窓方向に扇風機を向け、空気を循環させているか。	
5	定期的（1時間に1回、10分程度）に時間を定め、換気しているか。 ※注意喚起の案内・掲示（放送の利用）	
6	作業終了後に、手洗い、アルコール消毒を実施しているか。	

7 生活スペースの掃除

No	内 容	チェック
1	アルコール消毒液による拭き掃除を基本としているか。	
2	炊事場、おむつ交換スペースは、使用のたびに掃除しているか。	
3	人がよく触れる場所（ドアノブ、電源スイッチ、テーブル、蛇口など）を定期的に拭いているか。 ※人数が多い場所では、1時間に1回等	
4	居住スペースは1日1回、アルコール性消毒液で拭き掃除をしているか。 ※掃除前・後に手洗い・アルコール消毒を実施	
5	段ボールベットや毛布、布団などは使用者が変わるたびに、廃棄または洗濯・消毒を行っているか。	

8 熱中症対策

No	内 容	チェック
1	空調設備等は、適切に作動しているか。	
2	水分補給の案内を行っているか。	
3	室温の変化は確認できるか。	

9 トイレ

No	内 容	チェック
1	トイレを頻繁に掃除しているか。 ※水を流すときはふたをしめて、しぶきを浴びないようにする。 ※下痢のあとが見られた場合は、速やかに掃除するとともに、該当者が特定できるよう注意して見守る。	
2	換気は定期的に行われているか。	
3	靴の履き替えは行っているか。	
4	トイレトペーパーは清潔に保たれているか。	
5	トイレを利用前に消毒すること、（洋式トイレの場合に）便座・ふたを閉じてから水を流すことを周知できているか。	

10 在宅避難、車中泊

No	内 容	チェック
1	在宅避難、車中泊等の実施状況は確認できているか。	
2	定期的な巡回、声かけ等はできているか。	
3	消毒や換気の励行はできているか。	
4	熱中症や血栓症のリスクや、適度な運動の実施について、周知できているか。	

日々健康状態チェック表

ふりがな	
氏名	

記入日	/ (月)	/ (火)	/ (水)	/ (木)	/ (金)	/ (土)	/ (日)
体温	朝 度	朝 度	朝 度	朝 度	朝 度	朝 度	朝 度
	昼 度	昼 度	昼 度	昼 度	昼 度	昼 度	昼 度
	夕 度	夕 度	夕 度	夕 度	夕 度	夕 度	夕 度
息苦しさがある ・息が荒くなった ・急に息苦しくなった ・少し動くと息が上がる ・胸の痛みがある ・横になれない、座らないと息ができない ・肩で息をしている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
味や匂いを感じられない	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
咳や痰がでる	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
全身倦怠感(だるさ)がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
吐き気や嘔吐がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
下痢がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
その他、風邪等の症状がある	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
思い当たる行動							
接触者							

スクリーニング票

				番号	氏名	
No	チェック項目	判断要素		あてはまれば○	処置の方向	
1	医療行為の要否	発熱	() 度	備考	A 感染症スペースへの移動 B 医療機関への受診・入院	
		下痢	() 回/ 日			
		おう吐	() 回/ 日			
		ケガ	部位()			
2	日常生活の介助	介護度	要介護()	備考	C 福祉避難所 【 】 福祉施設 【 】 介護施設 【 】 への入所	
		四肢麻痺	上肢			右 左
			下肢			右 左
		食事	一部介助			
			全介助			
		排泄	一部介助			
			全介助			
		歩行	自立			
			杖			
			歩行器			
車いす						
3	意思の疎通	精神疾患		※左記に○が入った方 ひどい物忘れ・排泄・昼 夜逆転・大声を出す 幻覚・幻聴・妄想・その他		
		認知症				
		記憶・言語障害				
4	何らかの配慮が必要	食事・排泄・歩行		備考	D 福祉避難所スペースでの生活	
		産前・産後				
		身体の障がい				
		乳児とその母親				
		病中・病後				
5	ほぼ自立	歩行可能		備考	E 一般居住スペースでの生活	
		家族と同一生活				
		既往症				
6	新型コロナウイルス感染症	2週間以内に家族が新型コロナウイルスに感染した方もしくは濃厚接職者はいましたか		備考	F ホテル・旅館等の個室での生活	
		2週間以内に本人又は家族が県外や外国に行きましたか				
		2週間以内に本人又は家族が県外の人と接触(マスク無で15分以上)はありましたか				

スクリーニングポイント

No	チェック項目	チェック	
1	治療中の病気あり		
2	定期的な通院あり		
3	服薬や注射あり	手持ちの薬 0～2日分	
		手持ちの薬 3日以上	
	薬を飲んで体調が安定している		
	薬を飲んで体調が安定していない		
4	食事に特別な配慮が必要あり		
5	調子の悪いところあり		
6	生活用品で困っている		
7	対象に該当する		

災害時アセスメントシート

災害時における避難所生活期(避難所や福祉避難所)において、対象者の状況を確認するためのシートです。
 ※太線枠内は、必ず記入してください。

記入日時	年 月 日()	時頃	記入者所属
記入場所		記入者氏名	

基本項目

フリガナ 氏名・性別		男 女 その他	住 所	
生年月日	(M・T・S・H) 年 月 日(歳)	電話	本人	固定・携帯
家屋被害の有無	有・無	家屋被害の状況		
本人や家族の 心配ごと・希望				
同居家族構成	祖父・祖母・父・母・兄・姉・弟・妹・孫	同伴者の有無	有・無 ()	
緊急連絡先	フリガナ 氏名	続柄	住 所	
			電 話	固定・携帯

簡易所見

() の理由により、福祉避難所・緊急入所・入院・その他 () が必要
その他

要支援関連項目

生活保護	受給あり・受給なし			
要介護認定	認定の有無	有・無	要支援・要介護1・要介護2・要介護3・要介護4・要介護5	
	認知症高齢者の日常生活 自立度判定の有無		自立・Ⅰ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲa・Ⅲb・Ⅳ・Ⅴ	
	担当ケアマネ	事業所・機関名 氏 名		
障がい区分	手帳の有無	身体障害者手帳	有・無	1級・2級・3級・4級・5級・6級
		療育手帳	有・無	A1(最重度)・A2(重度)・B1(中度)・B2(軽度)
	精神障害者保健福祉手帳	有・無	1級・2級・3級	
	担当ワーカー等	事業所・機関名 氏 名		
サービス利用事業所1	事業所名		サービス利用事業所2	事業所名
	所在地			所在地

医療受診等の状況

かかりつけの 医療機関名		服薬状況	有・無・不明
基礎疾患		医療上の 注意事項	

ADL等の状況

排泄	<input type="checkbox"/> 自立 (トイレ)	<input type="checkbox"/> 自立 (Pトイレ)	<input type="checkbox"/> 自立 (オムツ・パッド等利用)	<input type="checkbox"/> 要介護 (トイレ誘導)	<input type="checkbox"/> 要介護 (トイレ介助)	<input type="checkbox"/> 要介護 (Pトイレ介助)	<input type="checkbox"/> 要介護 (オムツ等交換介助)	<input type="checkbox"/> 声掛け	<input type="checkbox"/> 医学的配慮 ()
食事	<input type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 自立 (食事制限あり)	<input type="checkbox"/> 要介護 (配膳・下膳)	<input type="checkbox"/> 要介護 (食事準備)	<input type="checkbox"/> 要介護 (摂食行為)	<input type="checkbox"/> 入れ歯	<input type="checkbox"/> アレルギー ()		
	<input type="checkbox"/> 要介護 (口腔ケア)	<input type="checkbox"/> 経管栄養等の医学的配慮		<input type="checkbox"/> 食事形態 (普通食、刻み食、ミキサー食、流動食、ソフト食)		更衣	<input type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 自立 (一部介助)	<input type="checkbox"/> 全介助
移動・移乗	<input type="checkbox"/> 自立 (安定)	<input type="checkbox"/> 自立 (不安定)	<input type="checkbox"/> 自力歩行 (用具)	<input type="checkbox"/> 自力移動 (車椅子)	<input type="checkbox"/> 要介護 (同行介助)	<input type="checkbox"/> 要介護 (車椅子)	<input type="checkbox"/> 要介護 (移乗)	<input type="checkbox"/> 不可	
意思疎通	<input type="checkbox"/> 問題なし	<input type="checkbox"/> やや難聴	<input type="checkbox"/> 難聴	<input type="checkbox"/> 弱視	<input type="checkbox"/> 全盲	<input type="checkbox"/> 意思表出が困難	<input type="checkbox"/> 意思疎通が困難	<input type="checkbox"/> 用具使用	<input type="checkbox"/> 日本語困難
睡眠	<input type="checkbox"/> 問題なし	<input type="checkbox"/> 服薬あり	<input type="checkbox"/> 不眠	<input type="checkbox"/> 医学的配慮 ()					
行動・こだわり	<input type="checkbox"/> 問題なし	<input type="checkbox"/> 社会適応性	<input type="checkbox"/> 対人コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 自閉傾向	<input type="checkbox"/> こだわりあり ()	<input type="checkbox"/> その他 ()			
自傷・他傷	<input type="checkbox"/> 問題なし	<input type="checkbox"/> 自傷行為あり (意識的)	<input type="checkbox"/> 自傷行為あり (無意識)	<input type="checkbox"/> 他傷行為あり (間接的)	<input type="checkbox"/> 他傷行為あり (直接的)				
金銭管理	<input type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 要支援	<input type="checkbox"/> 日常生活自立支援事業	<input type="checkbox"/> 成年後見制度	<input type="checkbox"/> 未成年後見制度				
入浴	<input type="checkbox"/> 自立	<input type="checkbox"/> 自立 (不安定)	<input type="checkbox"/> 要介護 (チェア浴)	<input type="checkbox"/> 要介護 (特浴)					

主訴・経緯等

来訪時の様子	
本人等の主訴	
経緯・支援判断要素等	

避難所の環境

電気	<input type="radio"/> ・ <input type="radio"/> × ()	電気	<input type="radio"/> ・ <input type="radio"/> × ()
ガス停止	<input type="radio"/> ・ <input type="radio"/> × ()	トイレ環境	
その他衛生環境			

聞き取れる範囲でのここ数日の状況

くらしの様子 (睡眠、食事、排泄、入浴)	6時 12時 18時 24時 6時 12時 18時 24時 6時 12時 18時 24時

DMA Tや災害派遣福祉チームの助言、医療ケアの必要性など

支援判断要素等	
---------	--

自由記述欄

支援判断 要素等	
-------------	--

※当該個人情報、県、市町村、社会福祉協議会、社会福祉施設等の関係者間で共有し、今後の保健・医療・福祉分野等における支援に活用することについて、説明を受けたことに同意します。

年 月 日

署名

--

阿波市避難所運営マニュアル
「新型コロナウイルス感染症対策編」

令和2年8月 策 定
令和5年3月 改 定

発 行 阿 波 市

阿波市市場町切幡字古田201番地1

TEL 0883-36-8700
FAX 0883-36-8760

編 集 阿波市危機管理課